

武豊町議会議長 石原 寿郎 殿

武豊町議会議員 森田 義弘

一般質問の通告について

令和4年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1. 児童虐待の実態と対応について</p>	<p><b>【趣旨説明】</b></p> <p>警察庁がまとめた令和3年の犯罪情勢統計によれば、児童虐待の疑いで児童相談所に通告された18歳未満の子どもは、10万8,059人で、前年に比べ1.0%増でした。また、虐待事件での検挙は、前年に比べ1.9%増の2,174件で、ともに過去最高を更新しています。</p> <p>虐待通告の内訳としては、子どもの目の前で家族に対して暴力を振るうなどの「面前DV(ドメスティックバイオレンス)」や子どもに暴言を浴びせるなどの「心理的虐待」が前年に比べ2.4%増の、80,304人で最も多く、全体の約7割を占めたとのこと。次いで、「身体的虐待」が19,188人、ネグレクトなどの「育児の怠慢・拒否」が8,271人、「性的虐待」が296人との発表がありました。</p> <p>また、児童相談所における児童虐待相談対応件数が、年々増加傾向にある中、平成12年に「児童虐待防止法」が制定されました。このことにより、虐待の定義、通告義務が法により確立され、社会問題として子どもの虐待に対する関心が高まったと思われます。</p> <p>しかしながら、残念にも児童虐待防止法の制定後、全国初の虐待死亡事件が本町で平成12年12月10日に起こり、あれから20年余りの月日が経っています。</p> <p>この虐待死亡事件は、当時3歳の女の子が餓死するという大変痛ましく、衝撃な事件でした。私はこの事件をきっかけに、二度とこのような事件を起こさないため、これまで幾度となく、児童虐待についての質問をこの場でさせていただきました。虐待防止、虐待児童の支援策等を講じていただくことで、幸いにもこの事件以降、今日に至るまで本町において、重大な虐待事件は起きておりません。</p> <p>児童虐待は、子どもの健全な成長に影響を及ぼすだけでなく、命さえ奪うことがありますので、今後も児童虐待防止対策に力を入れて取り組んでいくことが重要と考えます。</p> <p>そこで、児童虐待の実態と対応について、以下の5点にわたり、質問をさせていただきます。</p> <p><b>【質問事項】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 本町において、直近10年間の児童虐待把握件数の推移はどのようなになっているか。</li> <li>② 児童虐待防止法の制定以降、児童虐待防止についてどのような取り組みが行われたか。</li> <li>③ 子育て支援センターや子育て世代包括支援センターの利用状況と効果は。</li> <li>④ 子ども家庭総合支援拠点の機能設置がされたことによる現在の対応状況は。</li> <li>⑤ 本年6月の児童福祉法改正を受け、本町では今後どのような対応をしていくのか。</li> </ol>